

男女平等むさしの発・あなたの声でつくる情報誌

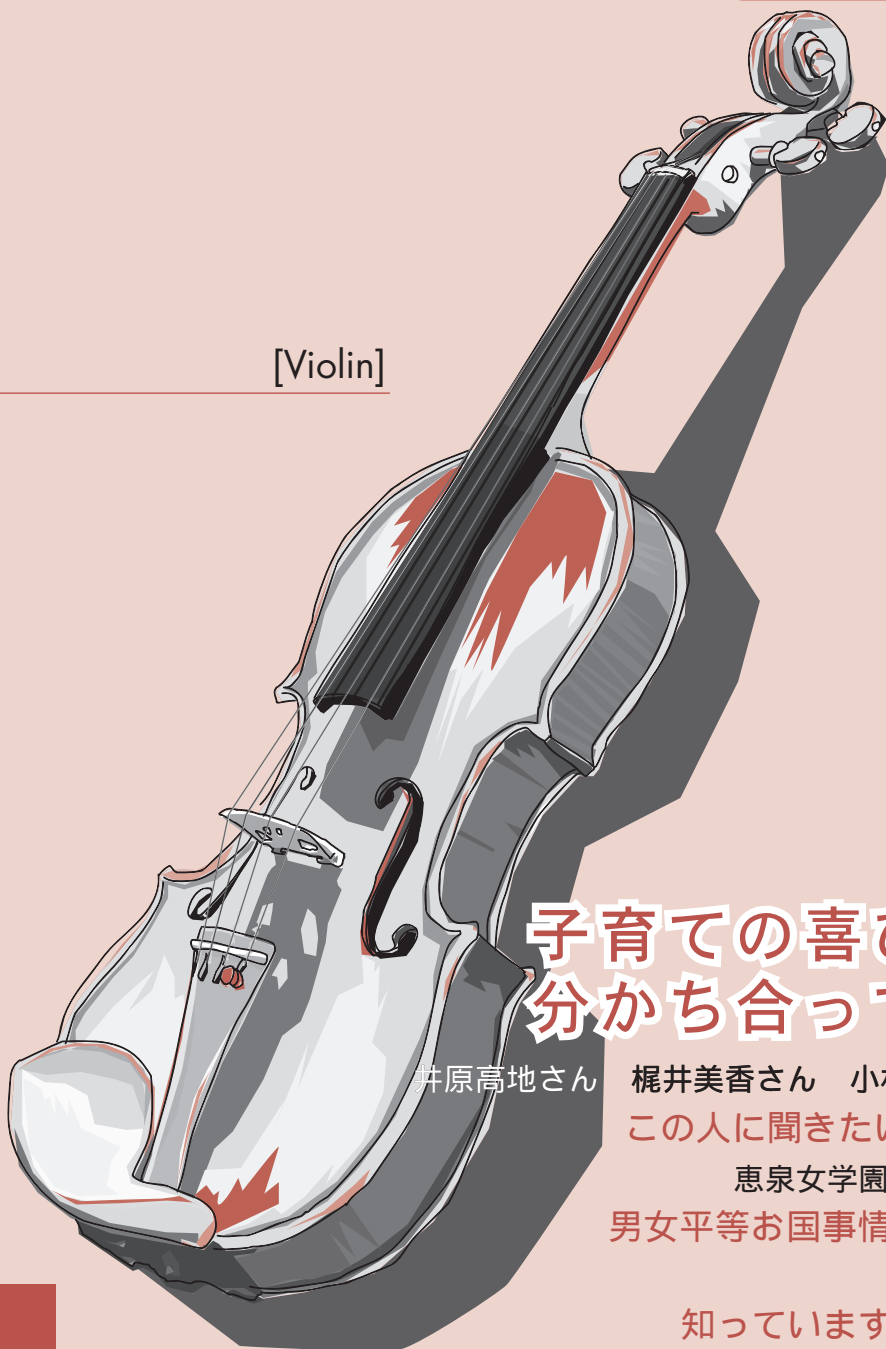
まなこ

企画・発行 武蔵野市企画政策室市民活動センター男女共同参画担当

想いは声に出してみましょう。

まなこはそんな声を伝えていきたい。楽器の音が人の心に届くように、今年の表紙は楽器です。

[Violin]



子育ての喜び、 分かち合っていますか？

井原高地さん 梶井美香さん 小林庸子さん（まなこポスト）

この人に聞きたい!! 『子育ての責任は...』

恵泉女学園大学教授 大日向雅美さん

男女平等お国事情 『気持ちの伝え方は?』

相原マリビックさん

知っていますか? 『病児保育室ポポ』

レポーター取材体験記 尾花雅子さん

きらきらボランティア

クライストマザーズ 佐々木民枝さん

48
2002



「子育ての責任は親だけで担うものではないありません」

恵泉女学園大学教授

大日向雅美さん

少子化の現在、子育てに対する関心が高まっている。子育ての責任や喜びを分かち合うのに必要なことは何だろうか。先頃、育児参加を父親に強く促す報告書を文部科学省の「今後の家庭教育支援の充実についての懇談会」がまとめた(図参照)。会の座長を務めている大日向雅美・恵泉女学園大学教授に伺った。

Q 近年、子育て支援が注目されますが、親は子育てに悩んでいるのでしょうか？

子どもが育っていく姿を間近に見ることは素晴らしい体験ですし、子育ては大切な仕事です。でも、可愛いけれど手間ひまかかる乳幼児の世話を、母親一人で担うのは大変です。とりわけ専業主婦の方々は、乳幼児を相手に会話も外出もままならず、社会から取り残されたような不安を抱く例は少なくありません。また、子育てでは成果がすぐには見えにくい面もあるので、能率が悪く思え、子育てで自分を認められなくなって自信を失うこともあります。



「母は慈しみ、父は厳しくと分けて考えず、優しさと強さをあわせ持つて子どもを育ててほしい」

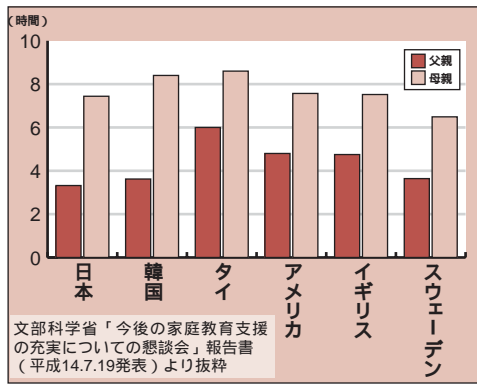
Q 日本では、主に母親が子育てを担うように思いますが？

かつての日本社会は農・漁業が主で、母親も働いていましたから、子育ては家族皆で、そして地域共同体で支え合ってきました。しかし戦後の高度経済成長期以降、雇用労働が一般的になり、「男性は仕事・女性は家事育児」という性別役割分業が定着していきまし。けれど子を育むことは、地域の中で当たり前に行われていたことでもあり、基本的に男女の別なくできます。母性・父性ではなく育児性という考え方があります。

育児性を高めるのに積極的な国も多くあります。ニュージーランドでは、子育て支援施設を親達に運営体験させ、親としてのノウハウを積ませる「プレイセンサー活動」という親子共育で方式が特色です。子育て支援は親も働いていましたから、子育ては家族皆で、そして地域共同体で支え合ってきました。しかし戦後の高度経済成長期以降、雇用労働が一般的になり、「男性は仕事・女性は家事育児」という性別役割分業が定着していきまし。けれど子を育むことは、地域の中で当たり前に行われていたことでもあり、基本的に男女の別なくできます。母性・父性ではなく育児性という考え方があります。

子育て支援ということを理念に掲げて、50年前から国を挙げて取り組んでいます。Q 子育てを楽しむながら、自分らしさも失わずにすむ社会をつくるには？ 子育て体験は喜びや戸惑いを経て自分の視野を広げるチャンスです。父親も子との触れ合いを通して、「仕事だけではなく、幅広いことができる自分」を見出し、自信を持てます。子を介して親も成長する場が家庭です。専業主婦も夫の育児協力で社会参加できれば余裕が生まれ、経済的・精神的に家庭を支える一端を担え、自立の一步を踏み出せます。Q 企業や地域も子育てを分かち合えますか？ 少子化で子育てに直接かかわりを持たない人が多い現状ですが、企業も地域も協力が欠かせません。父親や母親である社員のために労働時間を考慮したり、地域に子育てのサポート作りが求められています。子育てについて異世代の経験者と話し、親同士の交流の拠点を作り、それを出発点に父親も母親も社会参加を始め、地域に豊かなネットワークを拡げることが望まれます。カナダで導入されている「ノーバディーズ・パーフェクト(誰も完璧ではない)」というプログラムは、子育てをする上でさまざまな困難を抱えている家庭を手助けする目的で作られました。地域や社会で支え合おうとい

図1 子どもと一緒に過ごす時間の国際比較(1週間)



文部科学省「今後の家庭教育支援の充実についての懇談会」報告書(平成14.7.19発表)より抜粋

真昼の月を見つけたら

井原高地 32才 西久保

井原さんは、長男の千洗ちゃんに通う西久保保育園の役員も務める二児のパパだ。長女のつくしちゃんが生まれたため、保育士の奥さんは育児休業中だが、本来は共働きのご夫婦である。職業は個人宅を専門に手がける庭師。



所属する劇団の照明担当も。何事にも全力投球！

府中の親方の元へ朝8時に出勤し、午後5時までお客様の好みの庭に仕上がるよう、毎日体を張って頑張っている。そんな中でも、千洗ちゃんの保育園の送り迎えは奥さんと連携しながらやっているという。

「炊事は主にカミサン。どうしても私がやるより美味いんですよね(笑)掃除、洗濯は私がやっています。基本的に『そのときできる人がやればいい』と思っていますから」

保育園の代表として、地域や行政とのかわりも多い井原さん。「子育ては家庭内の問題ではない」という持論がある。「私も保育園に通った経験があるので思いますが、子どもは周りの環境を見て育ちます。親、先生、近所の人、友達

やその家族…。大人はそれを自覚しなくては」

また「根本的に集団保育と家庭保育は違うのですが」と前置きした後で「子どもが初めて見る虫や真昼の月に興味を持った瞬間に、たまたま一緒にいたのが親でも保育士でも、子どもにとっては同じ発見です。さまざまなきっかけを子どもがどう受けとめるのか、見守り認めてやるのが大人の役割ではないでしょうか」

子どもを育む環境は、夫だ妻だ、地域だ行政だと立場をくくらず、皆で守るべきだと語る井原さん。「私も子どものことで悩むようになって、親になったことを実感できたのですが」

(文 新井利恵子)

支える手も見守る眼も、たくさん、あったほうがよい。子どもは、私達みんなの宝物だから。紹介します。3人の方の力強い手とやさしい眼差し。

小児歯科の診療室から

梶井美香 62歳 西久保

梶井さんは子ども専門の歯科医を始めて、30年になる。大病院に勤務していた頃は出産と育児の真っ最中。保育園のお迎えのために会議を中座することもままならなかったが「家族の協力のもとよ、保育ママ、保育園などの手助けがとてもありがたかつたし、友人と子どもを預け合うことで、私自身も力づけられ成長できた」と語る。

そんな経験から、診療室に来る幼児と親達の暮らしが治療と共に見えてくるのだ。今は男も女も、子どもがいてもいなく

ても仕事優先になっていて、特に働く母親は時間がない。均等法以来男性と同じ仕事量と責任を負い、子育ての喜びを味わいきれないようだ。家にいる母親も一人で不安をかかえ育児に力が入り過ぎていく。

ときには治療後の子どもにも「土曜日はお父さんといらっしゃい」と声をかけ、ぎこちなく連れてきた父親には大いに励ますそう。梶井さんは、子どもの健康や歯に影響する栄養や保育の助言もする。ときには施設や子育て支援の情報などに話が及ぶこともある。

「そんなときにはお母さん達に少しでも役に立てたと嬉しくなります。そして男女とも親になったら会社人間から家庭人になる勇氣を持つこと。だから社会制



「よその子どもでも、危ないことをしていたり、人に迷惑をかけているようなときは、つい、注意しちゃうのよ」

度として労働時間は1週40時間までと、皆で声を出し合うのも分担の一つだと思えます。私は一番大変だったとき、いろいろの人に助けてもらった。今はお返しを模索しています」

*男女雇用機会均等法(雇用管理に關して男女差別を禁止。女性保護規定を撤廃) (文 浜 俊子)



縁あって親子になって



初めて描いてくれたお母さん

小林庸子 70歳 境南町

5歳の誕生日の翌日からSは、子どもにない私達夫婦の里子として一緒に生活を始めた。生後間もなく乳児院に預けられたSは、お父さんやお母さんという言葉も知らず大人を見れば先生と呼んだ。戸惑いながらも私は、いつも子どもと真正面から向き合い、帰宅したときには必ず「お帰りなさい」と声をかけようと心に決めた。

夫は最初、里子を育てることに反対していたが、いつの間にか夫のあぐらの中がSの指定席になった。近所の奥さん達から陰口を叩かれることもあったが、すくすくと成長し、素直な良い子に育ってくれた。

ところが中学2年のとき、癌で入院を繰り返していた夫が亡くなり、再び施設に戻るようになった。それから一年後、高校の入学式の日に突然、Sが訪ねて来た。

「これ、高校の制服。これ、入学許可証。お母さんに最初に見せたくて…」私の目に涙が溢れた。それから時々やって来て、学校のことや友達のことなど話しては帰って行った。「頑張って勉強して一番になってごらん」と言ったら、ほんとうにトップクラスの成績を取った。20歳のときには都知事の推薦を受け、ニューヨークで開かれた世界里子大会に出席、各国の里子達と交流を深めた。

今、Sは22歳。名古屋で働いている。安心して甘えられる友達のように、私と電話で話すのがとても楽しみらしい。(投稿)

子育てって母親だけの仕事ですか？

アンケートにボランティア協力いただける方を募集中。
詳しくは企画政策室市民活動センターまで

無心に遊ぶ子ども達の声に耳を傾けてみようよ！子どもがいる人もいない人も、きっと元気をもらえるはず・・・。

乳幼児を育てている母親の多くが孤立感や閉塞感を感じているといわれます。その原因はどこにあると思いますか？

- 子どもを連れて安心して出かけることのできる場所が少なく、外出しづらい。 女27歳 中央区 / 女31歳 西久保
- 子ども達が、教育者や保育者でないさまざまな人に人間として接してもらう機会が少ないから。 女33歳 吉祥寺東町
- 母親同士のふれあう機会が少ない。 女37歳 茨城県
- 子育てはすばらしい事としか教えられてこなかったから。 女38歳 境
- 個人としての社会とのつながりが切れてしまい、子どもに合わせたペースでの生活を強いられるから。 女39歳 関前
- 核家族化で、子どもと母親だけで過ごす時間がとても長いから。 女40歳 境
- 他の子と比べてしまうため、母親同士が心を割って素直に話をすることができない。 女40歳 千葉県
- 子どもを泣かせておくことのできない住宅事情。 女46歳 吉祥寺南町
- 氾濫する情報にふり回されてしまうから。 女60歳 吉祥寺本町 / その他10名
- 夫の理解・協力が得られないからでは。 男27歳 関前 / 男75歳 吉祥寺北町

こんな意見もありました。

- 病気のときぐらい母親が傍にいてやるべきという考えもあるが、病気のときはむしろ、専門家に保育してもらう方が安心だと思う。 男17歳 練馬区
- 今のおかさん達は相手にどう思われるかを気にし過ぎ。身近な人に相談できないで一人で悩んでいることが多いのでは。 女50歳 三鷹市
- 経済優位の時代に社会参加を果たしてきた母親達には、育児の煩わしさへの我慢が出来にくいのでは。 女58歳 吉祥寺南町

現在、「子育て」真っ最中の方に伺います。実際に分担や支援を受けてきたゆとり（体力・時間・経済面）を何に使えたいですか？

- ゆっくり眠りたい / 一人になりたい / 自分自身をリフレッシュさせる / 自己啓発
- 自己充実 / 自分自身のための時間 / 自分の好きなことをする時間 / 家事 / 人の役に立つこと
- 親業の訓練 / 健康のため、友人とおしゃべりしながら身体を動かす
- 資格取得のための勉強 / 仕事によって社会貢献がしたい



手になります。不安要素の多い世の中ですが、個や孤を大切にすることが、他人と摩擦し切磋琢磨する機会を子供から奪ってはいないでしょうか？

うちには中学生の息子がいます。親以外にもお小遣いをくれる「複数のポケット」があるため、うちのモットーは「いつまでも誰かが何でも（して）くれると思うな」です。が、子どもは各家庭間の差を敏感に感じ取るため、親としては本意なモノを買い与えなければならぬこともあり、複雑です。

今、TVのバラエティ番組が気になります。ゴールデンタイムに流れる低次元の「罰ゲーム」。いじめとどこが違うのか？親の不安をあまり、益々閉鎖的になることを危惧します。

(文 新井利恵子)

問題を起こしてしまう子がいりますが、原因のひとつに「食事の仕方」があるのでは？ひとりぼっちの食事。一番の問題は、親が子供の出すサインをキャッチする機会を減らしてしまつこと。これは、母親だけ頑張ってもダメで、父親の毅然たる存在が必要。守られ過ぎもどうでしょう。世間で採れない子は、人との接し方が苦しい。

(文 柴 伸子 47歳 吉祥寺北町(談))

* Musashino International Association.
TEL 0422 (36) 4511
FAX 0422 (36) 4513

安心して「摩擦」できる社会へ

レポーター
柴 伸子 47歳
吉祥寺北町(談)

男女平等

お国事情

気持ちの伝え方は？

相原マリビック 35歳 境



「フィリピンの新聞にも、時々ドメステックバイオレンスの記事が載るようになりました」

マリビックさんはフィリピンのマニラ出身、日本人の夫との間に、幼稚園の女の子がいる。今は家事の合間に武蔵野市国際交流協会で日本語の勉強をしている。

フィリピンでは男女平等の考えが、家庭や就職にどう生かされているか、聞いてみた。「男女は平等だ、という考えはフィリピンも同じです。ただ、これは経済的に裕福な人達だけに限られている気がします。」

特に就職は、大学に行けるか行けないかで大きく違います。大学を卒業すれば男女に関係なく企業は管理職として採用しますし、そうでなければ、女性には思つような仕事がありません。

家庭ではお互いに働き、話し合つて家事、育児をする家もあります。私の両親もそうでした。これは平等だと思いますが、すべての家庭がそうとは限りません。

ところで、私の夫は仕事が忙しく夜も遅くて、休日は疲れきっています。だから、家族の事を考える余裕がないのか、本当に考えてないのかよく分かりません。

でも夫が一生懸命仕事をしてくれることが、私と娘への愛の表現だと思っています。」

(文 浜 俊子)

「子育て」の場で、どんな手助けや支援があるとよいでしょう？現在子育てにかかわっていない方も、一社会人としてどのような手助けの方法があると思いますか？

- 家庭で
 - 夫から妻へ気分転換の時間をプレゼントする。 女20代 在勤
 - 安い料金でのベビーシッターの派遣。 女27歳 中央区
 - 夫が子育てに積極的にかかわってほしい。些細な苦勞にもねぎらいの言葉をかけてほしい。 女39歳 関前 / その他19名
 - 電話相談。出来れば同じ相談員と話せるとよい。 女50歳 三鷹市
 - 夫は、乳幼児を抱えている妻に負担をかけないように自分のことは自分ですべきだ。大きな赤ちゃんにならないように。 男76歳 吉祥寺北町
- 地域で
 - 子どもと一緒に気軽に出かけることができ、また子育ての悩みなども相談できるような子育て支援施設。 女24歳 練馬区 / その他9名
 - 安い料金で、自宅で子どもを預かってくれる保育ママ。 女31歳 西久保
 - 1時間千円でも普通の家庭では、かなりの負担になるはず。 女37歳 緑町
 - 自宅近くのコミセンなどで、高齢者と楽しく交流したい。 女37歳 茨城県
 - 子連れでも気軽に入れるお店。 女38歳 境 / その他10名
 - 病気の子どもを預かってくれる施設。 女54歳 世田谷区
 - 大人の指導員のいる、子ども達が安心して遊べる場。 女60歳 吉祥寺本町
 - 育児経験者によるサポートシステム。 男36歳 三鷹市
 - 母親をメンタル面で支援するためのカウンセラーの設置。
- 職場や社会制度で
 - 子どもが病気のときに休暇の取れる制度。 女27歳 中央区 / その他14名
 - 教育費・医療費の援助。 女33歳 境
 - パートで働いていても預けることのできる保育所。 女39歳 国分寺市
 - 家事代行システム。 女40代 境
 - 年に数回、学校行事に参加するための休暇制度があると助かる。 女50歳 三鷹市
 - 学童保育の充実。 女56歳 八幡町



娘との時間、楽しんでいます

レポーター 宮本涼子 33歳 境(談)

現在、娘は3歳。子育ては主に私で、夫は娘の遊び相手として時々協力しています。これって、ちょっといいとこどりかな？

父親の育児参加のことは友達との話にもよく出てきます。案外、我が子といえども接し方がよくわからず、子育てに消極的な男性も多いのでは。入園前の子どもと父親がふれ合つてきつかけになるような行事や学習の場が、地域の中に増えればいいですね。きっかけ次第で変わる気がします。

これから、夫にももっと子育てに参加してもらい、夫と娘の時間も大切に考えていきたいです。

私は機会を見つけて、積極的に娘と外へ出かけてきました。中でも「0123」での講演会や交流は、貴重な体験で大いに役立っています。また、不安にとらわれがちな親にとって、世代を超えてのコミュニケーションは必要なもの。気持ちがあつたり、視野が広がったりすることがありますから。

私達は夫婦共に実家を遠く離れているので何かあつたとき、娘を安心して預けられる場と幅広い世代の人と交流できる場が身近にあればと思います。

(文 加藤杜子)

知

っていますか？

病児保育室 ポポ

働く親ばかりでなく家族にとつて、子どもの病気は大きな問題。市内唯一の病児保育室「ポポ」(平成12年開設)では、病気や回復期の子どもを預かってくれる。看護師1人と保育士2人が常駐。併設のクリニックで医師が対応する。

昨年、市の委託事業になり利用が増えている。レポーターの尾花雅子さんと訪問し、クリニック職員・興石久美さんに話を聞いた。

どんなときに預かってもらえますか？

風邪、下痢、喘息発作や骨折のほか、水痘や麻疹、耳下腺炎などの感染症の子どもも症状によつては保育しています。保育施設に通所中の乳幼児が特に多く、発熱などのため集団保育が難しい状態の子が対象です。また、一般の託児サービスでは病児を預からないことが多いため、保育園以外も必要に応じ、受けています。

公的助成などの委託制度が整備されてからは、市内在住児も増えてきましたが、小学校低学年や市外の子の利用もあります。今のところ病児保育室はまだ珍しく、三鷹市や西東京市から来る子も。定員は、1日4〜6人です。

*全国でも病児保育室は約250ヶ所しかない。
(平成13年度末 厚生労働省調べ)



本を読んだり遊び相手になったり、のんびりした雰囲気の中で回復できる近所のおうちと思っていきたい。保育士・櫻田えり子さん

行き帰りの付き添いも保護者の方だけでなく、おはあちゃん、おじいちゃん、またベビシッターさんに応援を頼む家庭も、皆が協力する姿は子どもにも嬉しいのでは。保育士・文字幸子さん

●レポーター体験記●



レポーター・尾花雅子

利用の手続きを教えてください。事前に登録が必要ですが、緊急時は当日でも登録は無料です。利用時間は平日午前8時から午後6時。電話予約を受け付けます(当日の予約は午後4時まで)。留守番電話もあるので、時間外でもまず連絡を。入室時に医師が診察しますので、保険証、母子手帳ほか予約時に指示された物をお持ちください。また、保育中に病状が悪化したら、医師の判断で適切に処置をします。保育園との連携もあるそうですね。登園後の急な発熱時に保護者の要望で、代理でお迎えに行くこともあります。今年度、市内の各認可保育園からポポに視察に来ていただいたことで、園からの理解も深まったのではと期待しています。今後は、地域の無認可施設とも連携し、流行の感染症の情報交換を通じアドバイスし合えればと思います。冬場に風邪がはやり、利用児が予想より増える場合もあるので、地域の情報は常に大切です。今は採算を度外視した状況。でも、地域に必要な場を長続きさせたいですね。(取材 藤井美里)

知っていますか？

病児保育室ではありませんが...

こどもテンミリオンハウス あおば

親の病気、介護など緊急要件のほか、冠婚葬祭、仕事、買物、リフレッシュ等、子育て中の親の多様なニーズに応える形で託児を請け負う。送迎・宿泊にも応じる。ほか各相談事業もある。運営はNPO保育サービスひまわりママ。

利用対象は0歳から小学生で、事前登録と予約が必要。緊急時は応相談。利用料金は1時間800円から。問合わせを。

〒180-0001 武蔵野市吉祥寺北町2-16-11
TEL・FAX 0422(28)1883 午前9時~午後4時、水・祝日休。
緊急時は、090-8770-5703まで

病児保育室ポポ

〒180-0013 武蔵野市西久保3-8-13
TEL 0422(51)6030
併設グリーンパーククリニック TEL 0422(51)6022
保育料金 1日5000円、半日2500円。(市指定の保育施設に通所中の市内在住児の場合。保険料、おやつ代等含む。所得に応じて公費補助制度あり)
その他の児童については問合わせを。

どちらも市保育課に利用手引きがあります。

きらきら

ボランティア

子どもが与えてくれる恵みを分かち合いましょう

クライストマザーズ(吉祥寺南町)

代表 佐々木枝枝さん 39歳

体調がすぐれず子ども世話がきつい、ほんのちよつとの間子どもと離れたい、病院や買い物に行く間見えてほしい。少しでも子どもと離れることで、逆に愛情の再確認ができることもある。クライストマザーズは、そんな親達をサポートするボランティアグループだ。誕生するきっかけとなったのは5年前。佐々木さんは、当時子育てと仕事の両立で大忙しの毎日だった。同じ幼稚園に通う子を持つ長島かおりさんが、それを見かねて手を差し伸べた。

「同じ親として、彼女の気持ちがかつたんです。私達は自分が困っているとき、子どもを誰かに見てもらいたい、また見てあげたいという気持ちがありますから」

二人は周りの友人の協力を得ながら、助け合いの輪を広げていった。そして2年前から主に、当月に一度行われていた料理講習会(大きな籠)や子どもの人・卒園式のときに託児をしてきた。やがて長島直代さん、星野生子さん、森木まゆみさんの3人が加わり5人が中心となって、クライストマザーズを立ち上げる。今年の9月より本格的な活動がスタートした。

活動拠点は南町コミュニティセンターです。残念ながら、南町には0



▲ 左上から長島(か)さん・佐々木さん 長島(直)さん・星野さんと子ども達。

託児日 月・火・木・金の10時から12時
申し込み 預ける1週間前までに予約
料金 保険代・通信費等を含む支援金として子ども一人につき一回3000円
二人目から兄弟姉妹は一人1000円
クライストマザーズ 佐々木
連絡先 090(9843)6311
(取材 加藤和子)

むさしのヒューマン・ネットワークセンターでは

今回のテーマ「子育て」に関する本を、ネットワークセンターの蔵書の中から情報部の小境範子さんと福澤雅子さんが紹介してくれました。貸出しも行っていただけます。



育兒で会社を休むような男たち

育兒連 男も女も育兒時間を！連絡会編 ユック舎
この本の主役は、1980年代後半から現在にかけて、それぞれ育兒時間や育兒休業を取って仕事と育兒を両立させてきた四人の男性達。「男女共生」の社会というのは、仕事も育兒も男と女で半分こ！にすること。ああ、こんな時代に育兒をしたかった...



母性愛神話の罫

大日向雅美著 日本評論社
女性なら誰にでもあるとされてきた「母性愛」が、女性の生き方をせめ、父親(大人)になれない夫を作ってきた。性別役割分業と母子癒着にピリオドをうち、「共働き」「共育て」のできる社会体制への移行を、との20数年にわたる著者の主張の主張に「母性愛神話」にがんじがらめの、こんな息苦しい国では、もう、子育てはごめんだ。



子育てマンガ ママはぼよぼよザウルスがお好き

青沼貴子著 婦人生活社

「子どものいる生活」ってほんとに大変。「やめなさいって言うてでしょーが！」と火を吹く青沼ママの姿に、ため息をつきながらも笑っちゃう。カワイイだけじゃない子どもの生感がよく分かる。社会学の先生が分析する「パパたちの子育て実態と本音」も面白い。

「むさしの生活情報・子育て編」のアンケート集計結果がまとまりました。子育て世代の生きた情報です。詳しい報告書はセンターにあります。今後は情報の確認作業を進めていきます(薄謝進呈)。関心のある方、センターへご連絡ください。

ヒューマンネットワークセンターの詳しい情報はホームページで閲覧できます。



武蔵野市境2-10-27
武蔵野市政センター2階
TEL・FAX 0422(37)3410
E-mail mhnc@tokyo.email.ne.jp
URL http://www.clipcraft.com/m_hnc/

市民活動センター 男女共同参画担当では

トーク&シネマの開催日が決まりました。

日時: 12月14日(土) 13:30~17:00
講演: 「ともに輝いて生きる」講師: 横坪勇鶴子監督
映画: 「老親」日本映画 2000年作品、112分
監督: 横坪勇鶴子 出演: 萬田久子、小林桂樹

場所: 武蔵野公会堂ホール

詳しくは市報などでお知らせいたします。
平成13年度女性行動計画事業等調査報告書ができました。これは6月3日開催の女性関係行政推進会議(市長を議長とした関係部課長で構成)の資料として作成され、女性行動計画を推進するための事業、各種委員会の女性割合などをまとめたものです。
女性フォーラムむさしのトーク&シネマ2001報告書ができました。

上記2つの報告書は、市政資料コーナー・図書館等でみることができます。

『まなこ』45号「メディアの中のジェンダー」の特集を使い成蹊大学の女性学の授業が行われました。竹内敬子教授より、学生さんの感想をいただきました。その一部を紹介させていただきます。

「メディア批判をし、メディアが改正されることで私たちの生活がよいものになるのだろうか。~普段の自分たちの意識改革から生活を変えていけば、それに反映されメディアのあり方も変わってくるのでは」「自分が実感していないから、ジェンダーの場がないというも自分本位な意見だと思う」
「情報発信者としてのメディアは、世の中の動きをリードまではしなくともジェンダーの意識を操作しようという自覚をもつべきだ」
「女性のつらさと同じように、男性には男性なりのつらさがあると思う」
「私は思う。男だ女だという前に腕とセクスを磨くこと」
武蔵野市民社会福祉協議会の福祉講座2002の中で、12月15日(日)14時から講演: 「おしえて いまどきの子育て」 会場: スイグホール
講師: 主婦の友社第二編集部長 相場静子氏 があります。

企画政策室 市民活動センター 男女共同参画担当
TEL 0422(60)1869
URL http://www.city.musashino.tokyo.jp/

レポーター会議報告

レポーター会議風景

47号「自分らしい働き方、さがしてみようよ!!」について

文字の数が減って読みやすくなった。 40代女性
きれいにできたが、広く浅くきれいにならないように。 60代女性
『お国事情』は新鮮。いろいろな国の人が日本をどのように思っているのか取り上げてほしい。 70代女性

その他にも、表紙のデザインなどにかんしてさまざまな意見が出た。



7月16日市役所第604会議室

48号「子育てにおける負担」について

今の世の中では男の働き方に合わせて女も働かざるを得ない。 60代女性
働いている男も女も、次の世代を育てているという自覚を持って子育ての問題を考えて欲しい。 60代女性
社宅で、他の人と一緒に子育てをできた環境がよかった。 40代女性
今は、親が助け合いを求めない風潮があるように思う。 60代女性
お父さんの育児への協力は、昔とは違ってきたなと思う。 50代女性
なぜ子どもを虐待するのかモデルを分析してみてもいい。 50代男性

『まなこ』では、どんなサポートの方法があるのか情報をたくさん集めて欲しい。 60代女性
育てるのがつらい人もいれば、育てたがっている人もいる。もっと外を見て。 70代女性
子育てに一段落して働こうと思ったとき、年齢制限で働けない喪失感がある。 40代女性

子どもを育てるということに今も昔も変わりはないはずなのに、時代の流れに振り回されているようだ。
台風が東京に最接近した中でレポーター会議。会議の終了とともに台風も去って行った。今の世の子育てが、台風一過の空のように明るくなってくれればと願う。

(構成 星 詩子)

こんな情報・あんな手助け (インターネットアドレスは9月17日現在です)

武蔵野市の子育て相談

- 幼児教育相談 0422 (54) 1911 境幼稚園2階 予約制
- 帰国・外国人教育相談室 0422 (54) 8626/FAX兼用
市立四中学習センター3F 電話・来室どちらでも可
- ベコこのこ学級療育相談室 0422 (54) 5162 予約制
発達の気になる就学前の乳幼児から学齢期の幼児の相談
- ひとり親家庭相談 0422 (60) 1850

武蔵野市外の子育て相談

- 東京都教育相談センター 目黒区目黒1-1-14
03 (5434) 1983/FAX 03 (3493) 2293
<http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp/> 夜間電話相談、メール相談も受け付け
- 夜間電話相談「母と子の健康相談室」 03 (5285) 8898
月～金 午後5時～10時

インターネットでの相談・情報

- 子育てを応援するコミュニケーションサイト e-mama NTT
<http://www.e-mama.ne.jp/>
子育てこころの相談室・子育てからだの相談室
- ゴーゴー育児ドットコム ミキハウス
<http://www.55192.com/> 個別の子育て相談あり

母子家庭共和国・父子家庭共和国

- <http://www.singlemother.co.jp/>
<http://www.singlemother.co.jp/papa/>
悩み相談などオンライン・カウンセリングを行っている。
- しんぐるまざあず・ふぉーらむ
<http://www7.big.or.jp/~single-m/>

コミュニティセンターでの子育て支援活動

- 南町
 - ・ 子どもの情報誌「トゥモロー」を毎月発行
 - ・ 親子あそびの集い。
 - ・ 「ちびっこコーナー」乳幼児の遊び場常設。
 - ・ 多胎児を持つ親と子の集いなど、多彩な活動を行っている。
- けやき
 - ・ 子育て井戸端会議
 - ☑ その他のコミセンでも、さまざまな活動を行っています。お問合わせを。
 - ☑ 市内の子育て支援情報(相談を含む)は、「すくすく」に詳しく掲載されています。問合わせを。
 - ☑ ボランティア支援を希望する方は
ボランティアセンター武蔵野へ 0422 (23) 1170



子ども家庭課で配付

staff

レポーター	秋沢和宏・池見美貴 系井守・植田裕子 大尾浩美・長内レ子 尾花雅子・梶井美香 菊地一郎・岸文子 栗原恵子・桑原照子 小林庸子・小日向三恵子 柴伸子・藤間みゆき 水上紘子・宮本涼子 渡邊大輔
取材・編集	森治美(編集長) 新井利恵子・加藤和子 浜俊子・藤井美里 星詩子
デザイン	日比康人
印刷	横河グラフィックアーツ 株式会社

☆ 「夫にねぎらいの言葉をかけてほしい」アンケートから聞こえてくる切実な声は、胸に迫ります。手助けの第一歩は、「大変だね」と共感してあげることから始まるのでは…。
次号は、介護における負担の問題について考えます。(森 治美)

☆ 子育ては大変。だけどこんなにおもしろいことはないかもしれない。そう思えるのは、家族や友人が支えてくれるから。つらいときに励まし合える仲間をくれた子ども達に感謝。(星 詩子)

☆ 次男を出産したとき。当時4歳だった長男は、また湯気のあがっているような次男におずおずと、うっとり頬をよせた。今は兄弟ゲンカばかりだが、あの一瞬を分かち合ってくれた家族に感謝。(藤井美里)

☆ 近頃、子どもの声が珍しくなったという。でも、家のそばの公園に時々保育園児達がお散歩に。保父さんや保母さんの手から手の間を走り回り、歓声を上げるひととき。その声は人を和ませる力がある。(浜 俊子)

☆ 久々に幼き日の我が子のアルバムを開いてみた。育児に振り回され、大変な時期だったけれど、なぜか幸せな気分になってきた。ふくれつ面で写っているのさえいとおしく思える。何より横にいる母(私)の若いこと! (加藤和子)

☆ 子どものいない私にとって、「子育て」は未知との遭遇。それでも今回の取材や編集を通して、多くのパパ・ママが抱える問題が共通していることに気がついた。自分の幼少期には思いもしなかったこと…。(新井利恵子)

編集後記